

注 意 報

農技セ第6509号
平成29年6月30日

各関係機関長 殿
病害虫防除員 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター
病害虫防除所長
(公印省略)

平成29年度農作物病害虫発生予察情報について

平成29年度農作物病害虫発生予察注意報第2号を發表したので送付します。

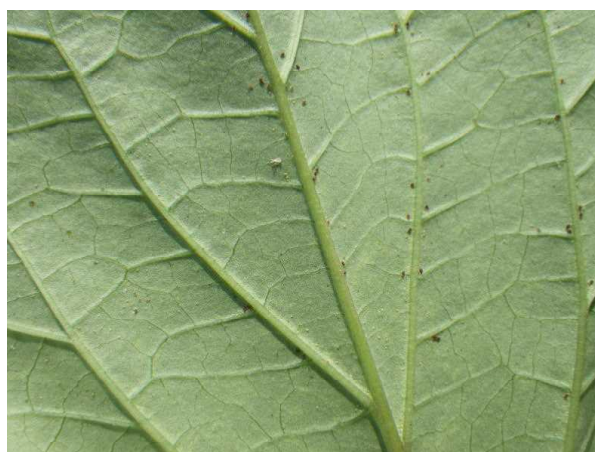
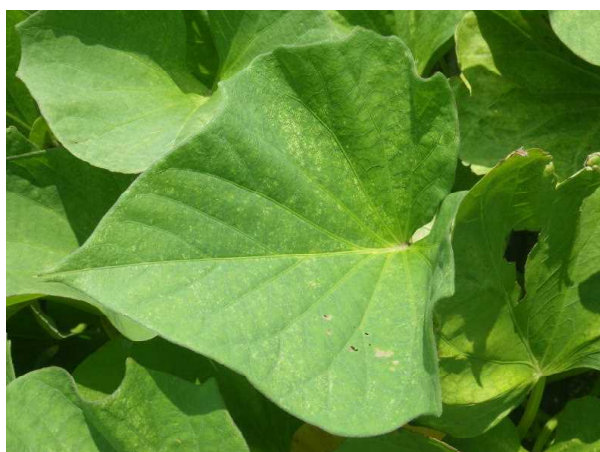
平成29年度病害虫発生予察注意報第2号

平成29年6月30日
徳 島 県

県北東部のサツマイモにおいて、6月後半の巡回調査の結果、ハダニ類の発生が平年より多く、また向こう1か月の平均気温が平年よりかなり高くなると見込まれていることから、今後も発生が増加し多発生となることが予想されますので、注意報を發令します。現地においては発生状況の把握に努めるとともに、適切な防除指導をお願いします。

作物名：サツマイモ
病害虫名：ハダニ類

1. 発生地域 県北東部のサツマイモ栽培地帯
2. 発生時期 7月～
3. 発生程度 多～甚(前年より多く、平年より多い)
4. 注意報發令の根拠
 - (1) 6月後半の巡回調査では、発生圃場率は81.3%で、ほぼ平年(65.9%)並の発生であるが、寄生葉率が36.5%と、平年(13.9%)に比べ高い。
 - (2) 6月29日發表の1か月予報では、期間のはじめは気温がかなり高くなると見込まれている。気温は平年より高く、降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並か多いと予想されており、発生助長的な気象条件である。
5. 防除法等
 - (1) 多発生後は防除が困難となるので、圃場全体でルーペや虫眼鏡等を用いてよく観察し、初期防除に努める。
 - (2) 薬剤は十分な量で葉裏にも付着するように丁寧に散布する。
 - (3) 薬剤抵抗性の発達を避けるために、同一系統薬剤の連続散布を控え、系統の異なる薬剤を輪番で使用する(表1)。なお、気門封鎖系薬剤は物理的に作用するため、抵抗性が発達しにくい。
 - (4) その他、防除等の詳細については、徳島県植物防疫指針を参照するとともに、薬剤の使用に当たっては、必ず農薬ラベル記載事項を遵守する。



カンザワハダニが多発生したサツマイモ葉
(左：葉表，右：葉裏)



カンザワハダニの成虫及び幼虫

表1 かんしょでハダニ類に登録のある農薬(登録内容：2017年6月30日現在)

農薬の名称	希釈倍数	散布液量	使用時期	使用回数	RACコード
コテツフロアブル	2000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	2回以内	I13
コロマイト乳剤	1000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	2回以内	6
マイトコーネフロアブル	1000倍	100～300L/10a	収穫3日前まで	1回	20(D)
粘着くん液剤 ^{*1}	100倍	150～300L/10a	収穫前日まで	-	未

^{*1} 気門封鎖系薬剤